

放送大学鳥取同窓会会報

麒麟 きりん

第11号

発行：放送大学鳥取同窓会
麒麟編集委員会

発行日：2025年10月13日

〒680-0845

鳥取市富安2-138-4
放送大学鳥取学習センター内

【目次】

- 1 鳥取学習センター所長 渡邊 文雄
- 2 令和7年度放送大学同窓会総会が開催されました
- 3 同窓会理事あいさつ
- 4 「放大祭り」「防災セミナー&ワークショップ」開催のお知らせ
- 5 事務局便り



所長 渡邊 文雄

皆さま、こんにちは。朝夕の空気にひんやりとした秋の気配を感じるようになり、大山の紅葉もそろそろ見頃です。店頭には収穫の終わりを迎えた二十世紀梨が並び、季節の移ろいを感じます。そして、カニ漁の解禁を間近に控えたこの時期、そわそわと心のはやる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

今年の5月25日、同窓会の役員改選が行われ、安田直人会長から三ツ国全代会長へとバトンが渡されました。

副会長・理事・監事も新しい顔ぶれとなり、会に新鮮な風が吹き込んでいます。これまで長く会を支えてくださった安田前会長や旧役員の皆さま、本当にありがとうございました。そして、新しく就任された皆さまの今後のご活躍を、私も心から楽しみにしています。

私も顧問を務めさせていただいてから、あっという間に1年半が経ちました。この間、会員の皆さまの温かさや活発な活動に触れるたび、同窓会が「卒業しても学びを続けられる場」そして「仲間と再びつながれる場」であることを実感しています。

この秋から冬にかけても「放大まつり」など、楽しい交流の機会が予定されています。

紅葉の美しい季節、そして冬の味覚が待ち遠しい時期、ぜひお気軽にご参加ください。学びの刺激と、季節ごとのおいしい楽しみ——どちらも満喫できるのが、鳥取のいいところですね。

同窓会は、一人ひとりの思いや行動で形づくられています。新しい体制のもと、皆さまと力を合わせて、この場をさらに魅力的にしていきたいと思っております。

これからもどうぞよろしくお願いたします。

令和7年度の同窓会総会が、5月28日（日）16時～17時まで鳥取市立図書館で開催されました。今回の総会では会長をされていた安田直人さんが勇退され、新たに副会長の三ツ國全代さんが新会長に選任されました。その他、役員は下記の通りとなりました。

会 長 三ツ國 全代 副会長 立脇 寿江 坂本 明

理 事 安田 直人 山田 順子 大平 高志

監 事 上紙 洋子 鈴木 輝博

相談役（歴代センター長）小林 一 田中 久隆 西田 良平 若 良二

（功労者）澤田 廉路 西本博之

顧 問（センター長）渡邊 文雄

何分、未熟なところが多々ありますので、皆さんに支えられて運営していきたいと思っておりますので、どうぞご協力をよろしくお願いいたします。総会資料は学習センターに保管してあるので見たい方はいつでも見られます。

同窓会活動の今後とこれからの学び



鳥取同窓会会長 三ツ國 全代

こんにちは。放送大学鳥取同窓会の会員の皆様には、会の運営に際し日頃からご支援並びにご協力をいただきありがとうございます。

今年度の総会で鳥取同窓会長に選任されました三ツ國全代と申します。2年間どうぞよろしくをお願いいたします。

鳥取同窓会の役員は別にお示ししているとおりでありますが、有意義な同窓会活動が営めるよう努力していきたいと考えております。

ここ数年、少しでも魅力ある同窓会にしていくことが課題となっており、全国同窓会連合会との連携を取りながら、検討を重ねています。会員の高齢化、減少が問題となっておりますが、直接対面でお話しする機会が少ない中、少しでも、人と人が繋がり、人と社会が繋がるための皆様のご意見もたくさんいただきたいところです。

鳥取同窓会では総会をはじめ広報誌の発行、セミナー、食事会などの活動のほか、放大大等学友会との共催事業を行っています。中四国同窓会交流会への参加において広く鳥取県以外の活動内容を知り交流を図る機会もあります。できることをできるように、無理せず、楽しくというのがテーマです。今年度独自の事業計画としては「防災ワークショップ」を開催することとしています。ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております。

さて、放送大学4回目の卒業を目指している私ですが、今年度は新たに「韓国語」を勉強し始めました。韓国ドラマは、韓国料理やインテリアなどを見るのが楽しくてずっと見続けているのですが、独学での語学は全く上達しません。

このたび本格的に学ぶことを決意し、格闘中です。単位を落としそう…とドキドキしながら前期試験を終わり、なんとか初級レベルの単位はとれたものの、ここでやめずになんとか続けたいと思っています。

学びは楽しいものであり、生きる活力です。年齢を重ねても新しいことにどんどんチャレンジしていける場所、そこが放送大学であり同窓会だなど、改めて感じます。今後ともどうぞよろしくをお願いいたします。

花と暮らす



同窓会副会長 たちわき寿江

一本の蘭と暮らすことになった。彼とは毎日、話している。昨年末、兵庫県にある「冒険館」に行った事から始まった。

日本を代表する冒険家、植村直己氏の遺品・はがき・写真などがたくさん展示されている。亡夫の出生地の近くが植村直己さんの出生地でありながら、チャンスなく30年も経過していた。

念願の初入館に対応してくれたスタッフが鳥取大学卒業生で、雪の中鳥取からの客を迎えてくれた。2.3時間ゆっくりと植村直己さんの命を感じ満足。退館した直後、先程のスタッフが一枚の紙を差し出し「植村直己さんの大学の後輩が一本の蘭を作られたのです。」「NAOMI」という蘭を十数年かけて誕生させた人がいて、無料でいただけるという話だった。

当時の私は大切な友人が病に倒れ、深刻な状況だった為、友人に花を贈りたくて、すぐ電話した。「あなたは、会わなければいけない人」そんな言葉から始まった会話。一番蕾の膨らんだ花を、3月に届けていただくも友人には見せる事が出来なかった。

4月に、初めてお会いし3, 4時間話し込んだ。彼の人生は植村直己さんを知って変わった。一度しかお会いしていないが、彼が作り出した花と暮らし会話する日々、その時間が愛おしく、心穏やかな時である。

同窓会の活動について



同窓会副会長 坂本 明

広辞苑によると、「同窓」とは「同じ学校で、または同じ師について学んだこと」とある。とすれば、通学して学ぼうが、通信教育で学ぼうが、同窓（生）であることに論を俟たない。

放送大学は、通信教育に特化した大学であるので、全員が通教生であり、学生間の交流機会を得るのは難しい。その中で同窓という意識をどうすれば醸成できるのか？

かつて、放送大学での学びは、放送による授業を受けるという原則ではあっても、今日ほど通信の環境が進んでいない時代、印刷教材を元にした学習と、センターでのDVDによる聴講が多くあり、学生同士のセンターでの触れ合いもまた頻繁であった。従って、学友会の活動も同窓会の活動も知己を得た者が多い中で展開できた。

ところが、今日通信環境の急激な発展により、学生同士が顔を合わす機会が激減した。ために、学生時代を共に過ごしたという感慨も、まして学生時代の思い出を語ることもなくなっている。

こうした現実の下、同窓会組織は、放送大学卒業という共通項を軸にして、活動を進めるについては、新たな価値観を得ることができるよう企画実行される必要があるのではなからうか？

例えば、学習で経験することのなかったテーマの研修・講習会、音楽・美術の鑑賞、各種懇親の会、新規入会者の歓迎会、入学者の歓迎会など。ぜひ各位のご提言を賜りたい。



同窓会理事 安田直人

会員の皆さまには、日頃より同窓会活動に温かいご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

元会長として歩んできた日々を振り返ると、多くの方々との出会いや思い出が今も励みとなっております。

現在は会計として、皆さまからお預かりした大切な会費を、より有意義に活用できるよう努めております。

今後も、世代を超えたつながりが続く同窓会を陰ながら支えてまいりますので、よろしくお願い致します。



同窓会理事(事務担当) 山田順子

同窓会の事務を担当しております、山田順子です。名簿管理や印刷・発送業務を行っています。

趣味は読書とパソコンで、同窓会の業務内容は自分に合っていると感じています。

最近はタブレットで気軽に本が読めるようになり、「活字がないと生きていけない」と言われるほどの本好きにとって、とても良い時代になりました。

もっとも読書の時間がなかなかとれず、仕方なく教科書を読んで過ごすことも多いのですが、いつか余裕ができたなら、小説や専門書を腰を据えて読みたいと思っています。

このたび、放送大学で2度目の卒業を迎えました。今回の「卒業の集い」では、卒業生の出席が少なく、10日ほど前に突然「謝辞をお願いします」と告げられ、大慌てしたのも思い出の一つです。まさに青天の霹靂でしたが、これもまた楽しい記憶となりました。

2度目の今回は、卒業要件の単位数が少なく、物足りなさを覚えたため、すぐに再入学しましたが、前回は卒業後にしばらく間を置いてから再入学しました。

思い立ったときに、年齢に関わらず学び直しができる放送大学の存在のありがたさを、改めて実感しています。

令和7年 学位授与式・入学者の集い

10月5日（土曜日）10時30～
13時30～

学位記伝達式
入学者の集い



の日程で2025年度第1学期「学位記授与式」及び2025年度第2学期の「入学者の集い」が挙行されました、おめでとうございます。



「放大まつり」開催のお知らせ

例年、皆様のご協力をいただき盛大に開催させていただいている、「放大まつり」ですが11月24日(月・振替祝日)9:30から16:00までの日程で開催されます。

場所 放送大学鳥取学習センター(鳥取市役所駅南庁舎5階)

写真等学生の作品展示は11月18日(土)～23日(木・祝日)まで。

どなたでも自由に参加・聴講できますので、お気軽にお越しください。

(詳しくは、鳥取学習センターHPでご確認ください)

防災セミナー&ワークショップ

放送大学鳥取同窓会主催事業

*ご家庭にある防災グッズ（リュックなど）をご持参ください

日時 2025年11月23日（日）15時～17時

会場 鳥取市役所駅南庁舎 地下1階 鳥取市富安2-138



学生、同窓生に限らずどなたでも参加可能！
防災についてみんなで語り合しましょう

- 第1部：セミナー 「どうしよう？」を「こうしよう！」に
避難行動と備えのススメ
講師 益田悠生 氏（鳥取市危機管理課主任、鳥取県自主防災活動アドバイザー）
- 第2部：ワークショップお茶を飲みながらの雑談・工作・防災リュック点検

先着30名様

参加費（当日）

1人500円

参加をご希望の方は下記よりお申込みください

TEL 08 57 - 37 - 2351 （放送大学鳥取学習センター）

または 090 - 2291 - 8698 （三ツ園：放送大学鳥取同窓会会長）

★★事務局便り★★

*会員状況（令和7年10月5日現在）*****

一般会員60名 特別会員15名（計75名）

会員皆さまの周りで卒業後、同窓会に入会されていない方がおられましたら、是非、ご加入いただけますよう、よろしくお伝えください。

*学友会共催事業について*****

在学生・教職員の方々との交流・親睦を図ることを目的に、ビアパーティー・忘年会などを企画しています。鳥取学習センターホームページ、機関誌「ぷりずむ」をご覧の上、事務局にお申込みください。

*鳥取同窓会会報誌「麒麟」原稿募集*****

鳥取同窓会事務局では会報誌「麒麟」の原稿を随時募集しています。会員の皆様の学びの現在・過去・未来、日頃感じていること、エッセイ、詩、自慢話、ちょっといい話など、形式は問いません。今、思っていること、考えていることなど、気軽にお寄せください。また、当会に対するご意見、「麒麟」に関するご感想などもお寄せください。

「麒麟」原稿送付先

放送大学鳥取学習センター気付 鳥取同窓会宛

〒680-0845 鳥取市富安2-138-4 鳥取市役所駅南庁舎5階

TEL (0857) 37-2351 Mail: newtottori@ouj.ac.jp